

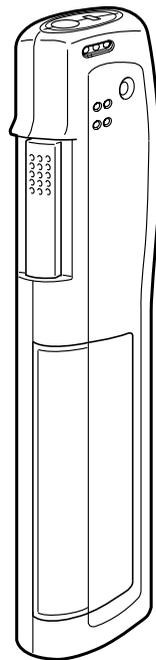
JVC

ワイヤレスマイクロホン

型名 **WM-P772**

取扱説明書

技術基準適合証明品



—お買い上げありがとうございます。—

ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「電池の取扱いについて」をお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0746-001C

特長

エレクトレットコンデンサー型 マイクユニット搭載

本機は、エレクトレットコンデンサー型マイクユニットを搭載し、スピーチ用に適しています。

PLL シンセサイザー方式を採用

800 MHz 帯 B 型ワイヤレスマイク用に指定された 30 波の周波数設定ができます。

雑音低減回路を内蔵

雑音が少なく、小さな音から大きな音までひずみの少ない集音ができます。

落下衝撃などに強い材質を採用

質感の良い、エラストマー樹脂とポリカABS 樹脂の複層成形構造のボディを採用しているため、落下衝撃などに強い構造となっており、耐久性に優れています。

2つの電源方式を採用

単3形乾電池、専用充電式電池（別売の専用チャージャーを使用）の2つの電源方式です。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	2
安全上のご注意	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
マイクの持ちかたについて	5
各部の名称とはたらき	6
エチケットシートについて	6
電池カバーの開けかた	7
ハンドストラップの取り付けかた	7

準備

電池(乾電池 / 専用充電式電池)を 入れる	8
充電をする	10
グループ / チャンネルを設定する	11

その他

こんなときは	14
保証とアフターサービスについて	15
仕様	16

安全上のご注意

絵表示について

この取扱設置説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています



注意

この表示（文字含む）を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています



警告

■ 本機を分解、改造しない。
火災、感電の原因となります。
また、本機の改造は法律でも固く禁じられています。



■ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。
故障、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



■ 充電端子をショートさせない。
故障、電池の漏液、発火、破裂、火災の原因となります。



■ 屋外で使用中、雷が鳴り出したら人体から本機を遠ざける。
感電の原因となります。



■ 金属類と一緒に持ち運ばない。
充電端子がショートし、発熱発火の原因となります。



■ 専用の充電式電池、チャージャー以外は使用しない。
専用品以外を使用すると、故障、発熱、発火の原因となります。



注意

■ 本機を濡らさない。
故障、発熱、感電の原因となります。



正しくお使いいただく ためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所で使用しない。

故障の原因になります。

- ・許容動作温度(0℃～40℃)範囲外の暑いところや寒いところ
- ・許容動作湿度(30%～80%)範囲外の湿気の多いところ
- ・ほこりや砂の多いところ
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- ・放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

■ 直射日光の当たらない、風通しのよい場所に保管する。

故障の原因になります。

■ 長期間(2週間以上)使用しないときは、乾電池または専用充電式電池を本機からはずす。

乾電池または専用充電式電池を本機に入れたままにすると、故障、電池漏液の原因になります。

取り扱いについて

■ 「技術基準適合証明書」をあらわす証明ラベルをはがしたり、破いたりしない。

本機には、電波法に基づく「技術基準適合証明書」をあらわす証明ラベルが貼ってあります。証明ラベルをはがしたり、破いたりすると、サービスを受けられないことがあります。

大切に扱ってください。



■ 本機は精密機器です。

下記のような取り扱いをすると、故障の原因となります。

- ・人やかたい物、先がとがった物でたたかない。
- ・振り回したり投げつけたりしない。
- ・固い床の上や、水の中に落とさない。
- ・ポケットに入れたまま、いすに座ったり、踏みつけない。

■ 電源を入れたままで電池をとりはずさないでください。

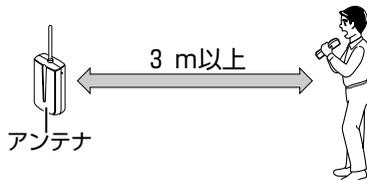
雑音が出る場合があります。

相互妨害について

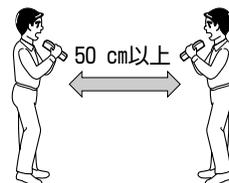
■ 混信や妨害を起こすことがあります。

下記のように使用してください。

- ・アンテナから3 m以上離れる。



- ・マイク同士を50 cm以上離す。



メモ

- 狭い室内など、アンテナから3 m以下で使用する場合は、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

■ 本機を携帯電話から3 m以上離れて使用する。

本機の近くで携帯電話の発信音があると、ノイズ(“ジー”または“ブーン”という音)が発生することがあります。

ハウリングについて

■ ハウリング現象(“ピーン”または“キーン”という音)が発生する場合は下記の対応を行なってください。

- ・本機の方向、位置などを変える。
- ・スピーカーから離れる。
- ・ワイヤレスチューナーの音量を小さくする。

専用充電式電池について

■ 専用充電式電池の充放電回数は約300回。300回以下でも動作時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命とされます。新しいものをお買い求めください。

■ 不要になった専用充電式電池は専用充電式電池リサイクル協力店へ。



不要になった専用充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH

お手入れについて

■ 本機はやわらかい布でふく。シンナーやベンジンなどでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

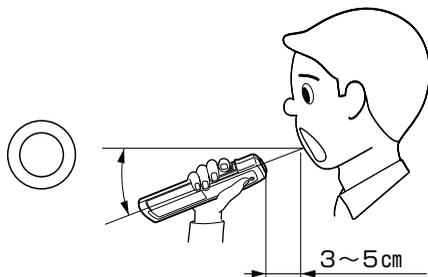
■ 充電端子は時々乾いた綿棒で清掃する。充電端子が汚れていると、接触不良を起こし、充電できないことがあります。1か月に一度は、乾いた綿棒で清掃してください。

■ 除菌について

マイク部を清掃する場合は、除菌スプレーなどを使用しないでください。マイク部に直接除菌スプレーを吹きかけると、故障の原因となります。清掃するときには、除菌剤を脱脂綿または、コットンに湿らせてふいてください。

マイクの持ちかたについて

下図のように持ってください。

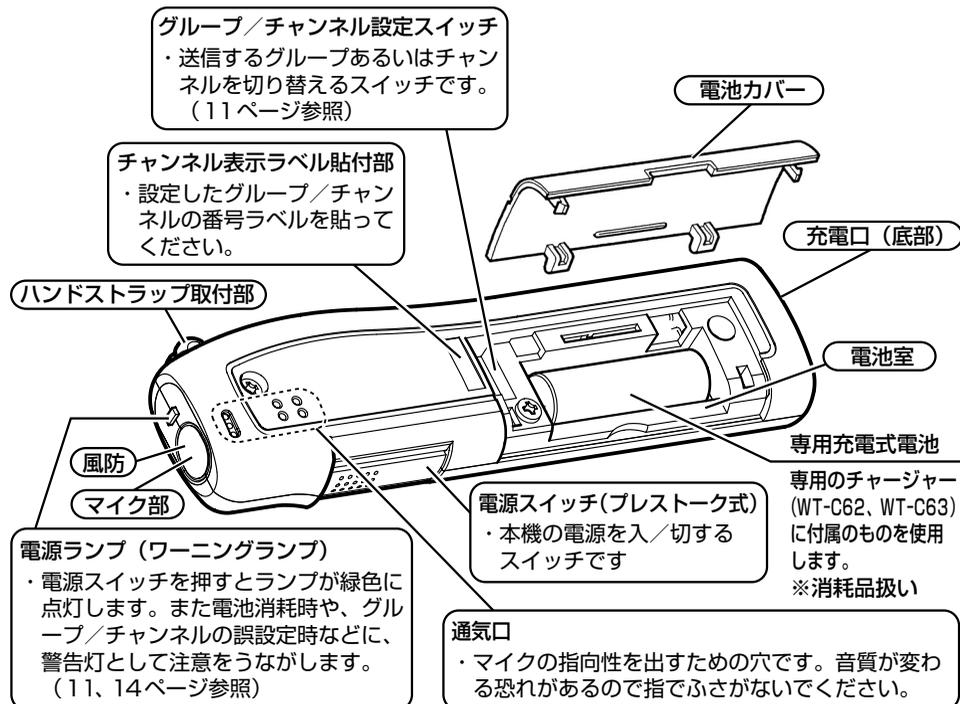


メモ

- 下図のように持つと、声が小さい、ノイズが目立つなどして、声を上手くとらえることができません。



各部の名称とはたらき



エチケットシートについて

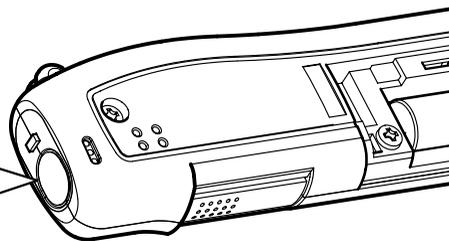
エチケットシート

マイク部に貼り付けてあるエチケットシートは、マイク部への汚れの付着を防ぎ内蔵マイクユニットを保護します。清掃は、エチケットシートの上から行ってください。

交換の目安は、1か月程度です。

エチケットシートについては、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

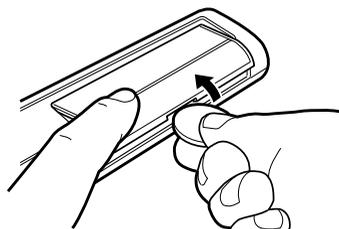
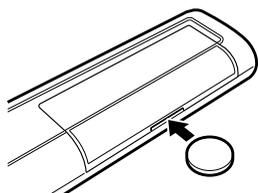
※消耗品扱い



電池カバーの開けかた

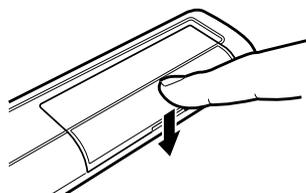
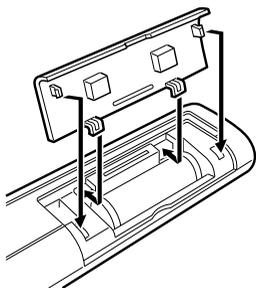
開けかた

1. 電池カバーの溝にコインなどを差し込みます。
2. 電池カバーを軽く押さえながら、コインを回します。



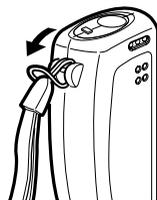
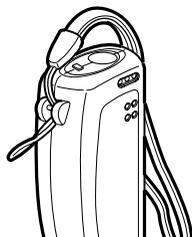
閉めかた

1. 電池カバーの爪を本体の穴に合わせます。
2. 電池カバーの中程を押します。



ハンドストラップの取り付けかた

ハンドストラップ(付属品)は、ハンドストラップ用の溝に通してください。



電池(乾電池 / 専用充電式電池)を入れる

電池(乾電池または専用充電式電池)を1本入れます。(以後、“乾電池および専用充電式電池”を、“電池”と呼びます。)

■ 使用できる電池

乾電池	市販の単3形 (アルカリまたはマンガン) ※本機に付属の乾電池は、動作確認用です。
専用充電式電池	WT-C62、WT-C63(チャージャー / 別売)に付属の専用ニッケル水素電池 ※専用充電式電池については、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

■ 電池の持続時間について

本機の使用時間は下記のとおりです。

使用電池	持続時間
満充電後の専用充電式電池	約26時間 (20%使用率時)
	約8時間(連続使用)
新品のマンガン乾電池 R6PU(NB)	約10時間(連続使用)
新品のアルカリ乾電池 LR6(G)	約26時間(連続使用)

※持続時間は目安です。使用状況、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

■ 電池の消耗について

- ・電池が消耗すると、電源ランプが赤色の点灯になります。
- ・電源ランプが赤色に点灯したら、乾電池の交換または、専用充電式電池を充電してください。
- ・電源ランプが赤色点灯に変わってから使用できる時間は右上の表のとおりです。

使用電池	電池交換または充電時期
乾電池	電源ランプが赤色点灯に変わってから、1時間以内
専用充電式電池	電源ランプが赤色点灯に変わってから、10分以内

※電池交換または充電時期は目安です。使用状況、電池の状態、周囲の温度などにより変動します。

■ 電池の入れ方

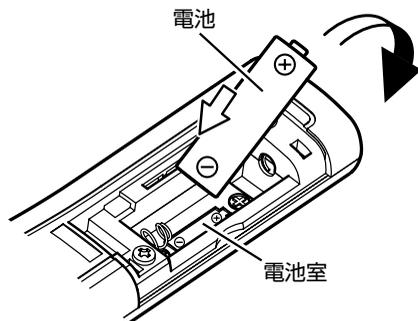
1. 電源スイッチから手をはなす。
電源ランプが消灯します。

2. 電池カバーを開ける。

本体部分を押さえながら、電池カバーをコインなどで開けます。(P.7ページ)

3. 電池を入れる。

電池の⊕と、電池室の⊕表示を合わせ、必ず電池の⊖側から下図のように入れます。



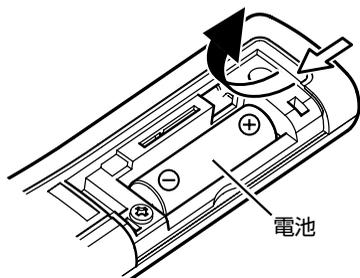
<電池カバーをはずした状態>

ご注意

- 電池を入れるときに⊖端子をつぶさないようにしてください。

電池を取り出すときは...

- 電池の ⊕ 側を下図のように矢印の方向に持ち上げてください。



<電池カバーをはずした状態>

4. 電池カバーを閉める。

本体部を押さえながら、電池カバーを閉めます。(P. 7 ページ)

充電をする

- 専用充電式電池で本機を使用しているときに、電源ランプが赤色に点灯したら充電します。
- 別売の充電器 WT-C62 および WT-C63 (以下、チャージャー) を使って充電します。チャージャーの取扱説明書もご覧ください。

ご注意

- WT-C62 および WT-C63 以外のチャージャーを使用しないでください。
- 専用充電式電池は、チャージャーの専用ニッケル水素電池を使用してください。専用充電式電池については、お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。
- 充電端子のお手入れを定期的に行なってください。お手入れの方法は、WT-C63 に添付されている「充電端子のお手入れについて」をご覧ください。

1. 本機に付属の充電アダプターをチャージャーに装着する。 (右図参照)

ご注意

- 充電アダプターの向きにご注意ください。逆向きの場合、正常に充電されません。(右図参照)

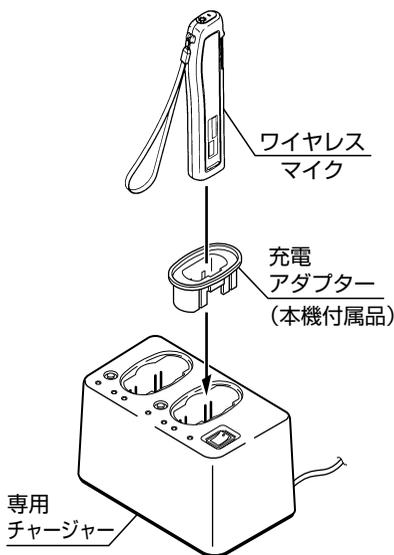
2. 本機の電源ランプが消灯していることを確認する。

3. 本機をチャージャーに差し込む。

- 充電が開始すると、チャージャーの“充電中表示ランプ”が赤色に点灯します。

ご注意

- チャージャーの“充電中表示ランプ”が点灯しなかったり、点滅する場合は、本機およびチャージャーの充電端子を清掃してください。
- 本機を向きに注意して、アダプターの上からチャージャーに差し込みます。(下図参照)



4. 充電完了。

- 充電が終了すると、チャージャーの“充電完了表示ランプ”が緑色に点灯します。

グループ / チャンネルを設定する

- ・ワイヤレスチューナーのグループ / チャンネル設定に合わせて設定します。
- ・設定をするときは、ワイヤレスチューナーの取扱説明書もご覧ください。
- ・推奨ワイヤレスチューナーおよびチューナーユニットは、弊社の WT-902-B/H、WT-904-B/H、WT-UD93 です。

ご注意

- グループ / チャンネルの設定は、専門知識が必要となりますので設置業者へおまかせください。

1. 本機の電源ランプが消灯していることを確認する。

2. 電池カバーを開ける。

本体部分を押さえながら、電池カバーをコインなどではずします。(P.7 ページ)

3. グループ / チャンネルの組み合わせを選択する。

グループ / チャンネルの設定組み合わせは下表をご覧ください。

<グループ / チャンネル組み合わせ表>

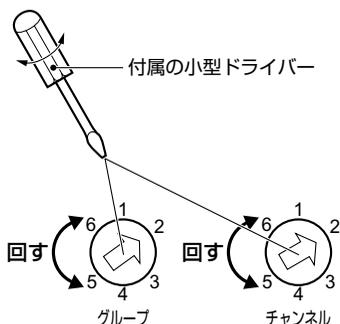
呼称	チャンネル	1	2	3	4	5	6
	グループ						
B	1	B11	B12	B13	B14	B15	B16
	2	B21	B22	B23	B24	B25	B26
	3	B31	B32	B33	B34	B35	B36
	4	B41	B42	B43	B44	B45	B46
	5	B51	B52	B53	B54	B55	-
	6	B61	-	-	-	-	-

※ 組み合わせ表にない設定や “-” 部の設定は使用できません。

(工場出荷時:「B31」)

4. グループ / チャンネルを設定する。

付属の小型ドライバーで、グループ / チャンネル設定スイッチの矢印を手順3. で選択した数値に合わせます。(下図参照)



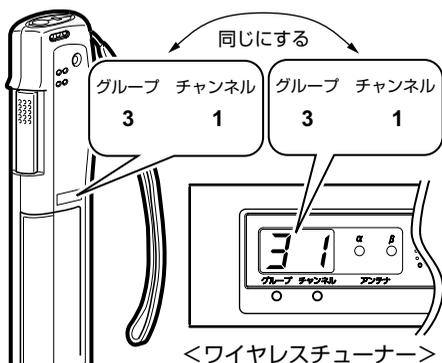
ご注意

- グループ / チャンネルスイッチを、頻繁にまわしたり、強い力で押し付けしないでください。故障の原因となります。
- 本機の電源を入れたままでは、グループ / チャンネルの設定を変更しても設定が変更されません。再び電源を入れると、新しい設定に変更されます。

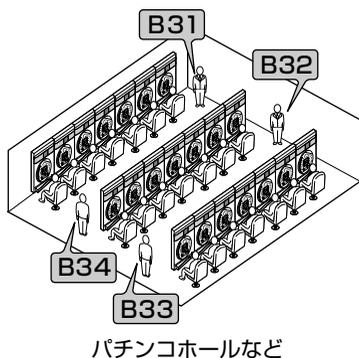
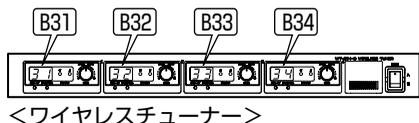
グループ / チャンネルを設定する(つづき)

ご注意

- 本機とワイヤレスチューナーのグループ/チャンネル設定が同じになるように設定してください。



- 同一場所で、ワイヤレスマイクを同時に2本以上使用する場合は、すべて同じグループですべて違うチャンネルに設定してください。



5. 電池カバーを開ける。

本体部を押さえながら、電池カバーを開けます。(P.7 ページ)

6. 設定を確認する。

本機の電源を入れます。

正常に設定されていると、電源ランプが緑色に点灯します。

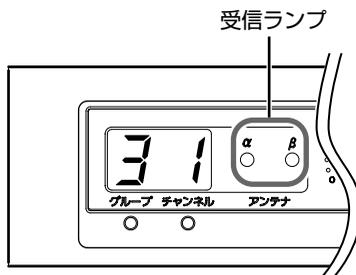
ご注意

- 正常に設定されていない場合、本機の電源を入れると、電源ランプが緑と赤の交互点灯します。再度、グループ / チャンネル設定を見直してください。

近くにワイヤレスチューナーがあるときの確認方法

本機の電源を入れたとき、ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯すると、正常に設定されています。

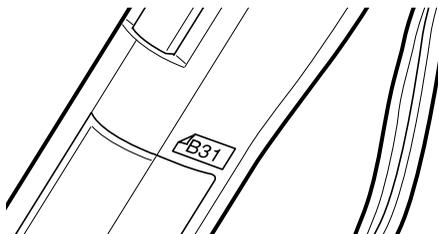
点灯しない場合は、グループ / チャンネル設定を見直してください。



<ワイヤレスチューナー>

メモ

- 設定が終わったら、付属のチャンネル表示ラベルを本機の所定の場所に貼ることをおすすめします。



こんなときは

使用中に不具合が生じたときは、下記の内容を調べてください。
それでも症状が改善されないときは、お買い上げ販売店または、サービス窓口にお問い合わせ
をせください。

症状	確認事項	処置	参照 ページ
電源スイッチを押しても、 電源ランプが点灯しない。	電池は正しく入っていますか。	電池を正しく入れてください。	8
	電池切れになっていませんか。	新品の乾電池と交換してください。	8
		充電式電池を充電してください。	10
電源スイッチを押したときや、 使用中に、電源ランプが赤色に点灯する。	電池が消耗しています。	新品の乾電池と交換してください。	8
		充電式電池を充電してください。	10
電源スイッチを押したとき、 電源ランプが緑色⇄赤色と交互に点灯する。	グループ / チャンネル設定スイッチは正しい位置にありますか。	グループ / チャンネル設定スイッチを正しい位置に設定してください。	11
電源スイッチを押したときや、 使用中に、電源ランプが赤色に点滅する。	-	お買い上げ販売店または、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。	-
送信できない。(ワイヤレスチューナーの受信ランプが点灯しない。)	本機とワイヤレスチューナーは、同一のグループ / チャンネルに設定されていますか。	本機とワイヤレスチューナーを、同一のグループ / チャンネルに設定してください。	11
雑音ができる、音が途切れる。 (本機を 1 本のみ使用)	アンテナから離れた場所にはいませんか。	アンテナに近づいてください。	-
	本機の近くに金属類や、携帯電話などの無線機器はありませんか。	本機から、金属類や、携帯電話などの無線機器を離してください。	4
雑音ができる、音が途切れる、 混信する。(同一の場所で、 本機を 2 本以上同時に使用)	グループ/チャンネルの設定が 同じマイクはありませんか。	グループ/チャンネルを正しく 設定してください。	11
	ワイヤレスマイク同士が近づ きすぎていませんか。	ワイヤレスマイク同士を 50 cm 以上離してください。	4
	ワイヤレスマイクとアンテナ が近づきすぎていませんか。	ワイヤレスマイクとアンテナ を 3 m 以上離してください。	4

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容で確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・カスタマーサポートセンター
(045-939-7320)

アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	: ワイヤレスマイクロホン
型名	: WM-P772
お買い上げ日:	
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

付属品及び添付品について

この取扱説明書に記載されている「小型ドライバー」などの付属品及び添付品は、保証期間内でも有償となります。お買い求めの際はお買い求め販売店、または最寄のサービス窓口にお問い合わせください。

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

その他

仕様

送信周波数	806.125～809.750 MHz間の125 kHzステップ30波
電波型式	F3E
発振方式	水晶制御 PLL シンセサイザー方式
変調方式	直接周波数変調方式
空中線電力	5 mW
アンテナ	本体内蔵方式
周波数偏移	± 5 kHz (94 dB SPL 1 kHz)
コンプレッサ	1/2 対数圧縮コンパンダ方式
実用到達距離	約 80 m (屋外の見通しの良い場所で、当社製チューナー /WT-902 とアンテナ /WT-Q830 との組合せ時)
マイクロホン型式	エレクトレットコンデンサー型
最大入力音圧	130 dB SPL
電源 (使用電池)	DC 1.2 V (専用充電式電池 × 1) または、DC 1.5 V (単 3 形乾電池 × 1)
電池寿命	約 10 時間 (単 3 形マンガン乾電池 /R6PU(NB) 使用、常温で連続使用時) 約 26 時間 (単 3 形アルカリ乾電池 /LR6(G) 使用、常温で連続使用時) 約 8 時間 (専用充電式電池使用、常温で連続使用時) 約 26 時間 (専用充電式電池使用、常温で 20% 使用率時)
動作温度範囲	0℃～+40℃
外形寸法	173 mm × 48 mm × 25 mm (長さ×幅×厚さ)
質量	99 g (専用充電式電池含まず)
仕上げ	エラストマー樹脂、ブラック / PC+ABS 樹脂、ブラック
付属品・添付物	保証書 1 電池の取扱いについてのご注意 1 取扱説明書 (本書) 1 チャンネル表示ラベル 1 ハンドストラップ 1 小型ドライバー (チャンネル設定用) 1 充電アダプター 1 単 3 形乾電池 (動作確認用) 1

*本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87 携帯電話・PHS  0570-010-114 一部のIP電話など 045-450-8950 FAX 045-450-2308 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12	ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
---	--

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12